

各 位

会社名 シーシーエス株式会社  
 (URL <http://www.ccs-inc.co.jp/>)  
 代表者名 代表取締役社長 米田 賢治  
 (JASDAQ・コード 6669)  
 問合せ先 取締役管理本部長 河嶋 良和  
 (TEL: 075-415-8291)

**山口大学とシーシーエス株式会社の共同研究**

**業界初、最高レベルの演色性を実現した白色LED「自然光LED」照明**

—第1回「白色LEDと固体照明」国際会議(11月26日～30日)に出展—

シーシーエス株式会社(本社:京都市)は、山口大学大学院(所在地:宇部市)理工学研究科 田口常正教授と共同で、最高レベルの\*演色性(\*平均演色評価数:98、\*相関色温度:4,300K)を実現した白色LED「自然光LED」を開発し、11月26日から開催される第1回「白色LEDと固体照明」国際会議の併設展示会に、この「自然光LED」を搭載した\*目視検査用拡大リング照明を参考出展いたします。

白色LEDの研究が進むにつれてLED自体の明るさが向上し、液晶テレビのバックライト、自動車のヘッドランプ、一般用照明へと用途が拡大しています。シーシーエス株式会社は、画像処理用LED照明で世界No.1シェアを確立し、独自の技術を活かして顕微鏡用、医療用、商業用・民生用へと事業分野を拡げており、今後はこの「自然光LED」を自社で開発するLED照明に搭載することを目的とし、各用途に合った最適な照明の商品化を目指します。

**【今回の開発内容】**

LEDの発光波長が405nm近辺の紫色LEDのベアチップとR(赤)、G(緑)、B(青)の3種類の蛍光体材料を使用し、平均演色評価数が98の白色LEDを開発し、このLEDを搭載した照明を業界で初めて試作した。

基準の光(平均演色評価数:100)を物体に照らした場合に最も自然に近い見え方となり、今までは平均演色評価数が95の白色LEDを搭載した照明はあったが、今回初めて平均演色評価数98と、演色性が最も高い白色LED照明を実現した。



**<用語解説>**※演色性:ある物体を照らした時にその物体の色の見え方に及ぼす光源の性質のこと。

※平均演色評価数:基準の光と比較して、特定の8種類の物体色を忠実に再現しているかを指数で表したもの。

※相関色温度:光の状態を表す一つの指標で、特定の観測条件の下で明るさを等しくして比較した時に、その光に最も近似した色に見える放射を発する黒体(あらゆる放射を完全に吸収する理想的な熱放射体)の温度。この温度を表す単位はK(ケルビン)。

※目視検査:工場での製造における最終工程で、人の目によって行われる外観検査のこと。

**【第1回「白色LEDと固体照明」国際会議の概要】**

名称:第1回「白色LEDと固体照明」国際会議(First International Conference on White LEDs and Solid State Lighting)

日時:2007年11月26日(月)～11月30日(金) ※併設展示会は2日間[2007年11月28日(水)～11月29日(木)]

会場:ホテルパシフィック東京(東京都港区高輪3-13-3 品川駅高輪口正面 TEL:03-3445-6711)

主催:社団法人照明学会[文部科学省科学研究費補助金 研究成果公開促進費(課題番号 1962006)採択事業]

共催:日本学術振興会「光電相互交換」第125委員会、日本学術振興会「ワイドギャップ半導体光・電子デバイス」第162委員会、

LED照明推進協議会、Foundation for the Advancement of the Science and Technology of Light Source (FAST-LS, UK)

協賛:電機設備学会、日本電球工業会、日本照明器具工業会、応用物理学会、電気学会、電子情報通信学会、エレクトロニクス

実装学会、日本照明委員会、日本建築学会、China SSL Alliance (China)